OWNER'S MANUAL

Companion® 5
multimedia speaker system

取扱説明書

この度はCompanion®5 multimedia speaker systemをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

 ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

 ●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

 △記号は注意を促す内容を告げるものです。(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●電源ケーブル、スピーカーコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
警告	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警告

通風孔のある機器のみ

●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。この機器をあお向けや、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源ケーブル、スピーカーコードの上に重いものをのせたり、ケーブルやコードが本機の下敷にならないようにしてください。また壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。ケーブルやコードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源ケーブル、スピーカーコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルやコードが破損して、火災・感電の原因となります。

●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。

●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが 落下し、けがや事故の原因となります。

注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります

●電源ケーブル、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。ケーブルやコードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所や異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影 響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や 故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談 ください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

注意		
		●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
		●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
		●お子様がポートに、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
		●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
		●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に 悪い影響を与えることがあります。
		●シンナー、ベンジン、アルコール類などの揮発性の薬品やその他化学物質、クレンザーなどで製品をふかないでください。破損、変質、変色、塗料のはがれや表面に傷を付ける原因となります。またスプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。
		●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。

音のエチケット

●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

あなたが放送やCD、テープまたはビデオディスクやその他市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用することはできません。

スピーカーの防磁について

●スピーカーアレイの防磁について

スピーカーアレイは、防磁型になっていますのでテレビやモニターなどに近づけても、画面に色ムラなど影響が生じにくくなっていますが、まれに画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーアレイを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーアレイをさらにテレビから離してご使用ください。

●アクースティマスモジュールの防磁について

アクースティマスモジュール内部のスピーカーは、防磁処理が施されていませんので、テレビやモニターなどに近づけないでください。近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからアクースティマスモジュールを十分（約15cm以上）離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、アクースティマスモジュールをさらにテレビから離してご使用ください。

目　次

安全のために

名　　称

準備と基本操作

そ　の　他

特 長

●リアルで豊かなサラウンド再生を実現する超小型スピーカーアレイ

一見2つに見えるスピーカーには、ドライバーユニットを各2本計4本内蔵。人間の聴覚特性を応用した独自技術により、自然な5.1ch音場を再現します。

●前方2つのスピーカーで自然なサラウンドを実現した独自技術「TrueSpace®」

ボーズ独自のデジタルサラウンドプロセッサー「TrueSpace®」を搭載。高度な信号処理により前方2つのスピーカーだけで、臨場感あふれる5.1chサラウンドと、自然な音楽再生を両立しています。

●パワフルでクリアな低音を再生するコンパクトなアクースティマスモジュール

深く豊かな低音再生を実現したアクースティマスモジュールは、方位感のないピュアな低音だけを再生するので、設置場所を選びません。

●PCとの簡単接続を実現するUSBケーブル

USBケーブル(5.1ch入力可)を装備。PCとの接続が容易に行え、映画や音楽、ゲームなどを迫力あるサウンドで手軽に楽しめます。

●どんな音量時でも自然でクリアなサウンドを提供する独自の音質調整回路

ボリュームを絞っても、最適な音響バランスに自動補正。また、大音量時でも歪みを抑えてクリアなサウンドを提供するコンプレッション回路を搭載しています。

本体のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないように御注意ください。

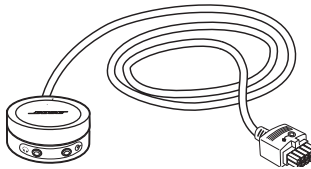
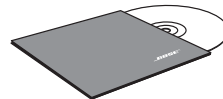
開梱時のご注意（付属品について）

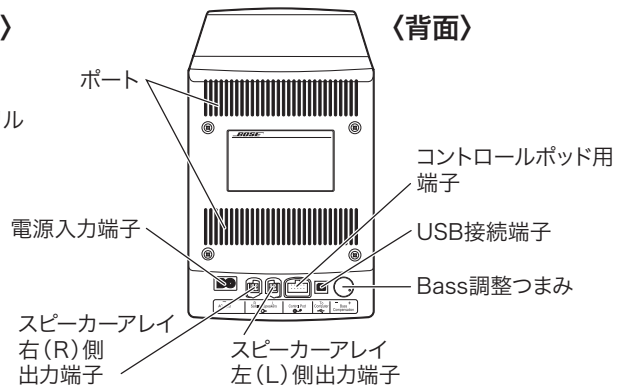
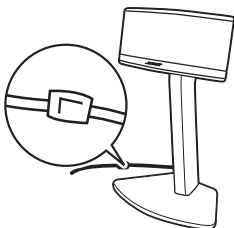
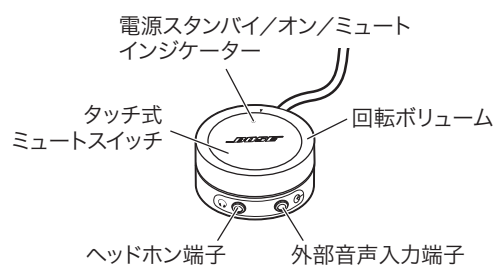
箱や梱包材は、後日修理メンテナンス等が必要になった場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

付属品を確認してください。

USBケーブル×1本（2.0m）

電源ケーブル×1本

アクースティマスモジュール用ゴム足×4個

コントロールポッド×1台（ケーブルの長さ 2.3m）

デモディスク

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称

設置方法

ここに示しました設置のガイドラインは、製品の性能を最大限に活かして、より広い空間印象をお楽しみいただくためにお勧めするものです。これを参考に、ご自分のお好みやお部屋の状況に応じて、より良い設置場所を探して頂いても構いません。

アクースティマスモジュールの設置位置

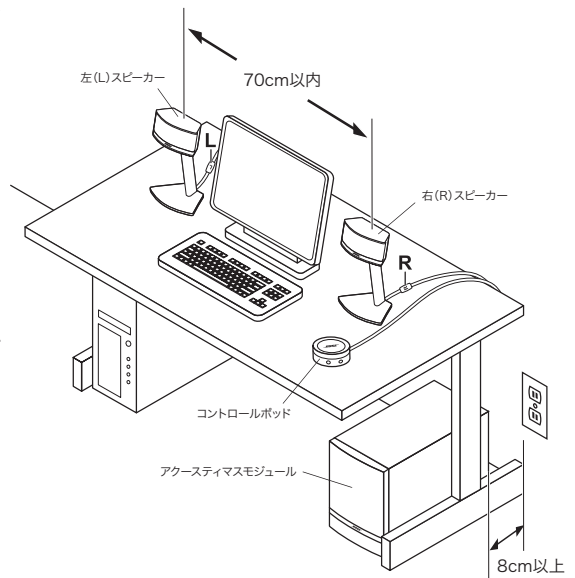
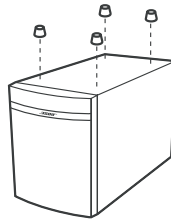
次のことを確認してください。

・アクースティマスモジュールに接続するケーブル類が届く範囲であること。

・アクースティマスモジュールは非防磁型のスピーカーなので、ブラウン管を使用しているコンピューター用モニターやテレビは画面に影響を与えないように15cm以上は離れていること（機種とブラウン管のサイズによって異なります）。

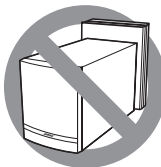
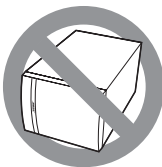
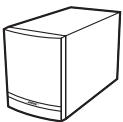
・アクースティマスモジュールは音が出る前面部分を塞がないように、効率よく低音エネルギーが得られるように、グリル部分を部屋に向けるか、壁に沿うように設置します。

・アクースティマスモジュール後部のポート部分を塞がないように、壁までの距離を8cm以上離してください。

・アクースティマスモジュールの設置する位置が決まったら、底面の4すみに付属のアクースティマスモジュール用ゴム足を右図のように貼り付けてください。安定感を高め、床やデスクに傷が付くのを防ぎます。

⚠注意　製品のゴム足について

・ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性があります。事前にご確認のうえご使用ください。

・付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

⚠注意

アクースティマスモジュールは防磁処理がされていません。そのため、コンピューター用モニター、フロッピーディスク、外付けハードディスク、その他磁気による記録媒体から必ず15cm以上離して設置してください。これらのものをアクースティマスモジュール上に直接置いたりあるいは近接した場所に保管すると内容が消えたり、再生できなくなる場合があります。

設置方法

スピーカーアレイの設置について

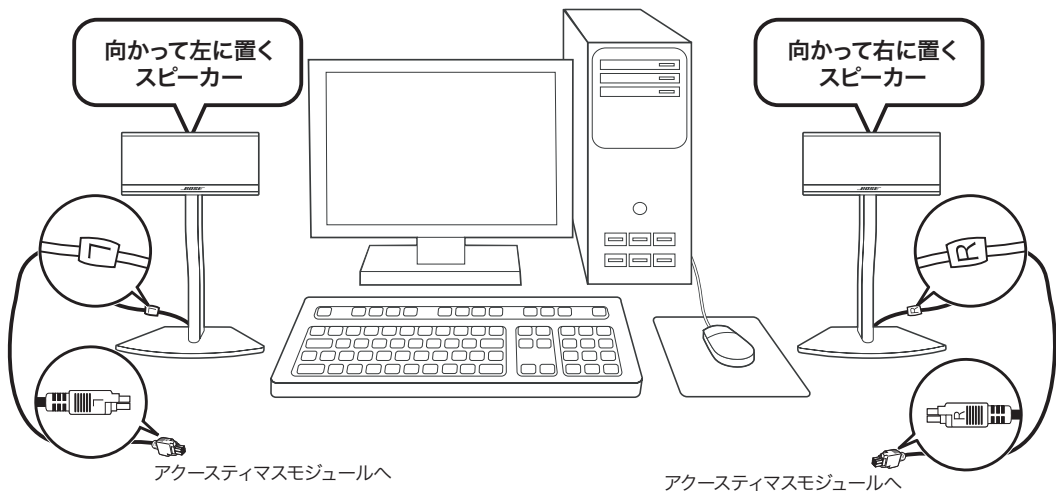
・1人または2人を対象にしたパーソナルサウンドシステムです。スピーカーアレイに向かって比較的近距離のリスニングポジションで最大のサラウンド効果が得られます。

・最適なサラウンド効果を得るためには、左右のスピーカーの間隔を最大70cm以内に設置することをおすすめします。

・スピーカーは必ず正面を向けて設置してください。内側に向けたり、外側に向けたりすると良い結果が得られません。

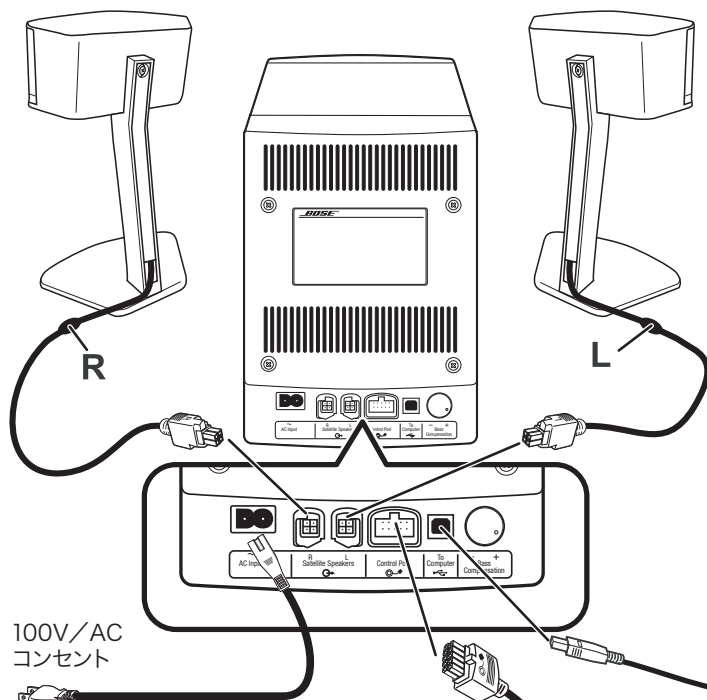
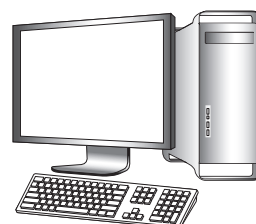
・書棚やテレビラックなどの上に置く場合は、必ずスピーカーを棚の前面部に設置してください。書棚の奥に設置するとサラウンド感が損なわれます。

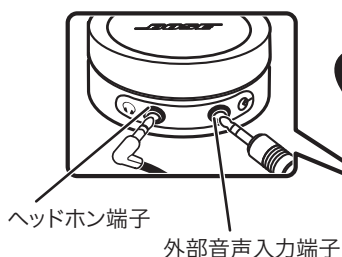
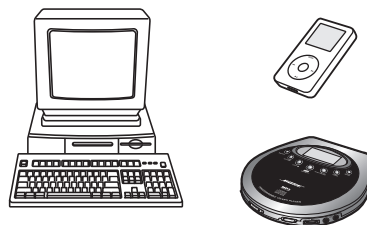
♪ **注意**　スピーカーアレイは、コンピューター用モニターやテレビの近くに設置しても画面に影響がでないような防磁型を採用しています。

スピーカーの左右を間違えないでください。

・スピーカーの左右を間違えると、サラウンドにならないばかりでなく、ステレオで聴くときにも、映像や音の定位などの本来の性能が発揮されません。

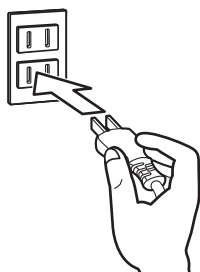
外部機器との接続のしかた

※すべての接続が終わるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

※電源を入れる前は、必ずコントロールポッドの回転ボリュームは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

アクースティマスモジュール背面の入力端子とコントロールポッドの外部入力端子を同時に使用する場合の音量バランスについて

アクースティマスモジュールに入力する音の大きさと、コントロールポッドに入力する音の大きさのバランス調整は、接続する機器の音量調節機能を利用してください。

電源ON／OFFと音量調整および使い方

※すべての接続が終わるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
※各機器の接続にまちがいがないか、もう一度確認してください。
※電源を入れる前は、必ずコントロールポッドの回転ボリュームは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

●音量調節のしかた

回転ボリュームを、時計方向に回すと音が大きくなります。反時計方向に回すと音が小さくなります。

●スタンバイモードについて

本機には、電源のON/OFFスイッチはありませんが、消費電力を節約するスタンバイモードがあります。次のような状態で約6分間経過すると、自動的にスタンバイモードになります。

・ コントロールポッドのアナログ入力端子に音声の入力がない（外部の機器が接続されている、されていないにかかわらず）。
・ 電源が入っているPCにUSBケーブルで接続していない。

●スタンバイモードから復帰させるには

次の2つの方法があります。

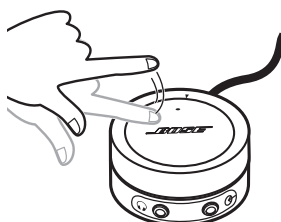
・ コントロールポッドの天面のアルミ部分をタッチする。
・ 電源の入っているPCにUSBケーブルをつなぐ。

※スタンバイモードから復帰できないときは、18ページ「故障かな?と思ったら」を参照してください。

●低音調節のしかた

つまみを時計方向に回すと低音の量が多くなり、反時計方向に回すと低音の量が少なくなります。

●ミュートのON／OFFについて

天面のアルミ部分に触れるとミュート（一時的消音）になります。ミュートを解除する場合は、もう一度天面のアルミ部分に触れてください。

インジケーターの色

・ミュート時 .... オレンジ
・ミュート解除................ 緑
・スタンバイモード........ 赤

コンピューターの設定（Windows XP）

Windows OSがインストールされているパーソナルコンピューターの場合

対応OS：Windows XP Home、またはProfessional Service Pack 2以降
USB 2.0ポートが使用できること

※上記条件に適合していないコンピューターで使用する場合は、コンピューターのアナログ音声出力(ライン出力、ヘッドホン出力)を付属のオーディオ入力ケーブルを使って、コントロールポッドの外部音声入力端子に入力して使用します。

⚠注意　設定が完了するまでは、全てのケーブルを接続したままにしておいてください。

1 本機の電源を入れ、PCのUSB端子に本機のUSBプラグを接続します。

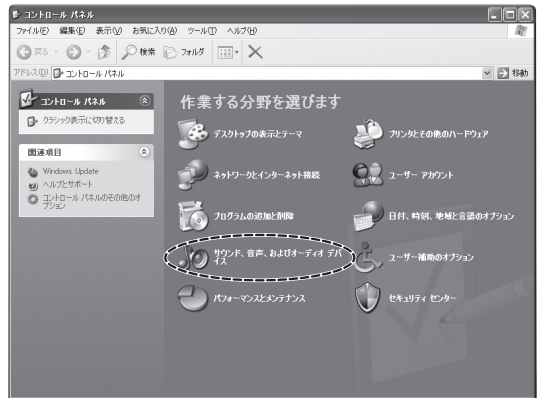
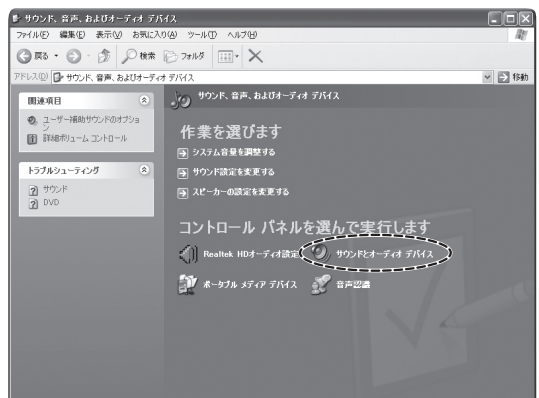
しばらくすると画面に右図のようなメッセージが次々と表示され、本機とPCの接続が完了します。

（所要時間約30秒）

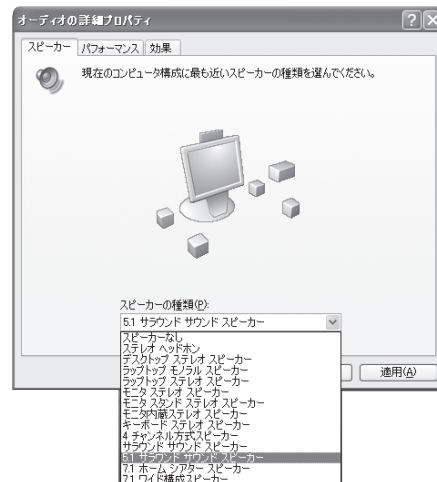
※もし違うメッセージが表示された場合は「故障かな？と思ったら」（17ページ）を参照してください。

コンピューターの設定（Windows XP）

2 スタートからコントロールパネルを開きます。

3 「サウンド、音量、オーディオデバイス」を選びます。

4 「サウンドとオーディオデバイス」を選びます。

コンピューターの設定（Windows XP）

5 「スピーカーの設定」項目の「詳細設定」を選びます。

6 「5.1 サラウンドサウンドスピーカー」を選びます。

7 「適用」を押して、「OK」を押して終了です。

コンピューターの設定（Mac OS X）

Mac OSがインストールされているパーソナルコンピューターの場合

対応OS : Mac OS X v10.4.6以降
USB 2.0ポートが使用できること

※上記条件に適合していないコンピューターで使用する場合は、コンピューターのアナログ音声出力（ライン出力、ヘッドホン出力）を付属のオーディオ入力ケーブルを使って、コントロールポッドの外部音声入力端子に入力して使用します。

⚠**注意**　設定が完了するまでは、全てのケーブルを接続したままにしておいてください。

1　**「システム環境設定」を開きます。**

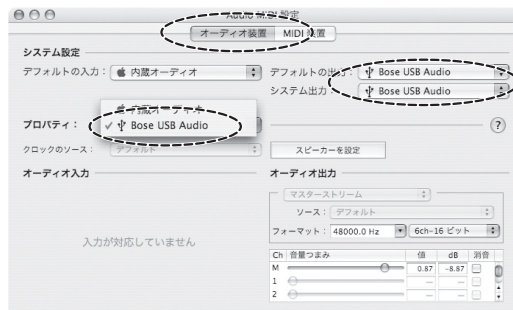
2　**「サウンド」を開きます。**

3　**「出力」を選んで、**
「サウンドを出力する装置の選択」内の
「Bose USB Audio」を選びます。

「システム環境設定」を終了します。

コンピューターの設定（Mac OS X）

4 「アプリケーション」フォルダー→「ユーティリティ」フォルダー
→「Audio MIDI 設定」を開きます。

5 「オーディオ装置」を選んで、
「プロパティ」、「デフォルトの出力」、
「システム出力」全て、
「Bose USB Audio」を選びます。

6 「スピーカーを設定」を選びます。

7 「マルチチャンネル」を選びます。

「スピーカー」の選択で
「5.1 サラウンド」を選びます。

8 「適用」を押します。
「完了」を押して設定を終了します。

故障かな？と思ったら

原　因／症　状	処　置
USBプラグを 接続してドライバーの インストールが うまくいかなかった 取説に書かれている メッセージとは違う メッセージが出た	・ドライバーのインストール最中にUSBプラグを抜いてしまったために正しくインストールができなかった。もう一度USBプラグを差し込んでやり直す。 ・違うUSB端子に接続し直す。 ・USBハブを使用していて、(低速)USB機器と本機が同じハブに接続しているために本機の性能が発揮されなくなる場合がある。この場合は同じハブに接続されている(低速)USB機器を全て外すか、本機のUSBプラグをPC本体のUSB端子に接続し直す。
音が出ない	・USBプラグを接続し直してみる。 ・スピーカーコードや、電源、コントロールポッド、USBケーブルの接続が適切に行われていることを確認する。 ・スピーカーコードが断線していたり、被覆が切れて中の線がショートしていないか確認する。 ・コントロールポッドの入力端子を使用している場合、接続している音源の信号レベルが低すぎないことを確認する。 ・ミュートがONになっていないことを確認する。コントロールポッドのインジケーターが緑色になっていることを確認する。 ・ヘッドホンをコントロールポッドのヘッドホン端子から外す。 ・PCの動画や音楽を再生するプログラムを起動し直してみる。 ・プログラムの音量ボリュームを調節する。ミュートONになっていないか確認する 。
音が歪んでいる	・音源からの音量を下げて、コントロールポッドのボリュームを上げる。
プツプツなどの 異音がPCから 聞こえる	・本機とPCとの接続にUSBハブを使用すると起きる場合がある。USBハブを通さずに直接本機のUSBプラグをPCに接続する。
十分な音量が 得られない	・PCの音量を上げる。コントロールポッドに接続している機器の音量を上げる。
音の広がり感や ステレオ感が無い、 高域ばかりが 耳に付く	・スピーカーアレイの左右を間違えていると正しいサラウンドの再生ができないので、スピーカーの左右を確認する。 ・アクースティマスモジュールのBass調整つまみを時計方向に回して低音を上げてみる。
片方の スピーカーアレイ しか鳴らない	・全ての部分の接続を確認する。プラグが完全に差し込まれていることを確認する。 ・音源かアクースティマスモジュールに問題がある場合は、コントロールポッドに別の音源を接続してみる。正しく再生できた場合は音源に問題があるので、音源となる機器を交換する。症状が変わらない場合は本機に問題があるので、サービスセンターまで連絡する。 ・音源の左右のバランスを調整する。

故障かな？と思ったら

原　因／症　状	処　置
コントロールポッドの天面のアルミ部分に触れてもインジケーターが赤色から変わらない	・ヘッドホンを接続している場合は、ヘッドホンを外す。 ・PCを再起動してみる。 ・USBプラグを正しく接続し直してみる。 ・USBプラグをPCから正しく外して、本機のACプラグをコンセントから抜き、1分以上経ってからもう一度差し込み、USBプラグを接続し直してみる。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　サービスセンター　　お客様専用ナビダイヤル 0570-080-023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター　お客様専用ナビダイヤル 0570-080-021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

仕　様

●総　合

形式	アンプ内蔵スピーカーシステム
入力端子	3.5mmステレオミニジャック×1（コントロールポッド）、 USB×1（USBケーブル）
ヘッドホン出力端子	3.5mmステレオミニジャック×1（コントロールポッド）
電源	AC100V(50/60Hz)
カラー	グレーとブラックのツートンカラー
付属品	USBケーブル×1、電源ケーブル×1、コントロールポッド×1 アクースティマスモジュール用ゴム足×4、デモディスク×1

●スピーカーアレイ

外形寸法	146（W）×225（H）×98.5（D）mm
質量	850g（スピーカーコード込み）
スピーカーコードの長さ	220cm（スピーカーアレイに付属）

仕　様

● アクティマスモジュール

外形寸法	173（W）×218（H）×426（D）mm
質量	8.3kg

● コントロールポッド

外形寸法	φ62.5×28.5（H）mm
質量	200g（ケーブル込み）
ケーブルの長さ	230cm（コントロールポッドに付属）

● システム条件

Mac OS がインストールされているパーソナルコンピューター
Mac OS X v10.4.6 以降
USB 2.0 ポートがあること

Windows operating system がインストールされているパーソナルコンピューター
Windows XP Home、または Professional Service Pack 2 以降
USB 2.0 ポートがあること
クロック周波数：1GHz 以上　ペンティアムプロセッサー同等以上
メモリー：256MB 以上
コントロールパネルのサウンドとオーディオデバイスのスピーカーの設定タブで 5.1 サラウンドスピーカーが選択できること

※ ・Mac及びMac OSは、Apple Inc.の商標です。
・Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1350-K
11･09（B）